

平成24年度 指定管理者評価結果

施設名	岐阜県先端科学技術体験センター
指定管理者	トータルメディア・中電興業サイエンスワールド運営グループ
共同体である 場合の構成員	株式会社トータルメディア開発研究所
	中電興業株式会社
施設所管課	総合企画部 研究開発課
管理運営に対する 評価についての 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・管理基準は充足しており、接客調査を実施するなど新たな取組みもなされている。 ・様々な積極的な取組みの成果が、利用者数の増加、高い満足度に表れている。このことは、当館関係者の多大な努力の成果であると思う。高く評価したい。 ・今後、利用者の低年齢化（就学前児童～小学生低学年）が顕著になってきた場合、理科教育をやっているのか、子育て支援をやっているのかわからなくなるのでは困る。その点を意識しておくことも、近い将来、必要になってくるかもしれない。 ・平成24年度の利用者数が過去最多になったことは、カリキュラムの開発や広報活動に努力をされた成果だと思う。 ・本日も館内利用者には、小学生（低学年）の子供たちが多く、小さい頃から理科に興味を持ってもらい、将来、先端技術の牽引者が当館の利用者の中から出てくれば素晴らしいことだと思う。 ・体験型の科学館が増える中で、当館の個性を出していくには、岐阜県らしさを出していくことだと思う。一つは地場産業への理解を深めてもらうこと。例えば東濃の焼き物を科学的に説明してみる。その他、岐阜県の重点産業である航空宇宙産業に興味を持ってもらえるようなカリキュラムを考えていくことも有益ではないか。 ・今は子供だけではなく、親の理科離れも顕著である。もっと学校へPRすれば、子供だけでなく親にも利用していただけたらと思う。 ・就学前児童を対象とした講座など、年齢層毎に幅広く講座が設定されていると良いと思う。
県の評価	<p>【A評価】 * A～Cの三段階評価による仕様書や計画書等に定める水準を上回る。</p> <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来からの事業の質を保持しつつも、新たなプログラム開発、様々なイベント企画、外部との連携事業が行われており、センターの利用促進に取り組むとともに、地域の科学の人材育成・生涯学習の拠点としての活動にも意欲的に取り組まれている。 ・現場スタッフは意欲的であり接客態度が良い他、センター内の清掃が行き届いている等、接遇、施設維持管理等が適切に行われている。 ・施設管理においては、危険防止のための館内巡視や館内放送による注意喚起の他、墜落防止用防護ネットの取付け、建物のハリ部分へのクッション材の養生等、想定外を想定した安全対策がとられている。 ・今後においては、同種の体験型の科学館が増える中で、魅力ある科学館として、当館の独自性をいかに出していくか、地元地域や学校教育とも緊密に連携をとりながら、岐阜県らしさを追求したカリキュラムの開発も進めることが望ましい。